

# 平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 商業・サービス産業支

担当名: 商業担当

内線: 3761

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B8	地域商業活性化促進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	中心市街地等商店街活性化促進事業費	
事業期間	平成23年度～平成27年度	根拠法令	なし			戦略項目			
						分野施策	030104	サービス産業の振興	
<b>1 事業の概要</b> 商店街や中小小売店は経営不振や空き店舗の増加など厳しい経営環境に置かれている。そこで、次世代人材の育成、地域活動の支援などにより中心市街地等の活性化を図る。  (1) 次世代人材育成事業 283千円 (2) 地域活動支援事業 209千円 (3) 環境配慮型施設整備事業 4,643千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 次世代人材育成事業 4,136千円 次世代を担う若手事業者の人材を育成するため、養成塾やワークショップを実施する。 イ 地域活動支援事業 8,483千円 市町村や商工団体が商店街支援を行う際に必要な情報提供や助言を行う。また、商店街等を支援する大学、団体等のネットワーク化と地域ニーズとのマッチングを行う。 ウ 環境配慮型施設整備事業 21,000千円 商店街におけるLED街路灯の新設や既設街路灯のLED化に要する事業費の一部を補助する。 エ 埼玉県商店街振興組合指導事業費補助金 1,000千円 埼玉県商店街振興組合連合会の傘下組合が実施する事業を支援する。 (2) 事業計画 ア 年間50人の若手事業者を対象とした次世代あきんど養成塾を県内2か所で開催する。 若手事業者のグループ化を促進し、15組45商店街の地域商業の活性化を担う若手グループを育成する。 イ 地域商業に関心のある県内大学等(卸市場やJA等)との連携ネットワークを構築するとともに、その状況や実情を把握して県内商店街とのマッチングを図る。 ウ LED街路灯の導入により、商店街における環境に配慮した施設整備を促進する。 エ 埼玉県商店街振興組合連合会(1団体)に対する事業費を補助する。 (3) 事業効果 若手人材の育成や広域的な大学等とのネットワーク化により、商店街や事業者が直面している様々な課題の解決を支援して、地域商業の活性化を図る。 (4) その他 ・事業名を中心市街地等商店街活性化促進事業費から地域商業活性化促進事業に改称する。 ・魅力を創造する商店街応援事業、中心市街地活性化マネージャー事業を廃止する。 (5) 補正予算の概要 (1) 次世代人材育成事業: 事務経費の節減により生じた執行残の減額。 (2) 地域活動支援事業: 事務経費の節減により生じた執行残の減額。 (3) 環境配慮型施設整備事業: 補助対象団体が補助の辞退をしたこと等による減額。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (1)、(2)(県10/10) (2)のうち、にぎわい商店街づくり支援事業(県1/2、商店街等1/2) (3)(県1/4)、市町村1/4、商店街等1/2									
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×4.2人=39,900千円									
				<b>財 源 内 訳</b>					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	5,135							5,135	29,484
現計額	34,619							34,619	